



## 森貞 真太郎 准教授が佐賀県内小学校 9 校で科学教室を実施

### 【概要】

理工学部化学部門の森貞 真太郎 准教授が、佐賀県教育庁学校教育課が実施する「外部人材を活用した科学教室」の講師として、2021年10月から12月にかけて県内の9校の小学校で5年生を対象に理科の授業を行いました。

### 【本文】

子どもたちの自然に対する興味や関心を高め、科学的な見方や考え方を養うために佐賀県教育庁学校教育課が実施する「外部人材を活用した科学教室」の講師として、理工学部化学部門の森貞 真太郎 准教授が佐賀県内の9校の小学校で小学5年生を対象に「ものが水にとけるしくみ」と題した理科の授業を行いました。

授業では、まず、児童たちが塩と小麦粉を水に溶かす実験を行い、その溶け方の違いを観察しました。その後、それらが水に溶ける様子を顕微鏡で観察したビデオを視聴し、どうしてもものが水に溶けるのか、また、溶けるものと溶けないものとの違いについて説明しました。

延べ12学級289名の児童に対して授業を行いました。いずれの学級でも児童たちは活発に発言し、ものが水に溶ける仕組みについて大いに興味を持ってもらえた様子でした。

### 実施校（実施日）

鹿島市立七浦小学校	(2021年10月5日)
武雄市立西川登小学校	(2021年10月19日)
小城市立岩松小学校	(2021年10月20日)
多久市立東原摩舎東部校	(2021年10月27日)
佐賀市立高木瀬小学校	(2021年11月1日)
唐津市立小川小学校	(2021年11月2日)
伊万里市立松浦小学校	(2021年11月9日)
白石町立須古小学校	(2021年11月16日)
県立唐津特別支援学校好学舎分校	(2021年12月8日)



科学教室の様子（小城市立岩松小学校）